

第73回 全国高等学校駅伝競走大会出場報告

秋工陸上競技部父母の会

全国駅伝募金委員会 後援会会长 渡邊 信一/OB会会长 中川 衛/父母の会会长 藤本 広毅



お礼のことば

向春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度京都府京都市で開催されました第73回全国高等学校駅伝競走大会の出場に際しまして、皆様から格別のご支援とご声援を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

今大会に於いて10年連続の28回目の全国大会出場となり、3位以内の入賞と2時間3分を切るタイムを目標にし、万全の態勢で大会に挑みましたが、23位・2時間7分台のタイムという成績で大会を終えました。

いずれの目標も達成には及びませんでしたが、コロナ禍での練習をこなし、都大路で懸命に櫻をつないでいく走りを目の当たりにし、全員持てる力を出し切ったと感じております。

これからもご支援いただきました皆様の期待に応えることができるよう部員全員が精進してまいります。今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますようおねがい申し上げ、大会と募金報告に代えさせていただきます。

本当にありがとうございました。

御 礼

全国高等学校駅伝競走大会を 振り返って

秋田県立秋田工業高等学校陸上競技部

監督 高 橋 正 仁

秋田県立秋田工業高等学校陸上競技部
主将 藤 本 駿 世

第73回全国高等学校駅伝競走大会出場に際し、多くの方々から御支援と御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。

今大会に向けて、前回大会が入賞まであと一步と迫る9位で終え、『3位入賞』を目指に掲げてこの1年、練習に邁進してきました。その中で、大野聖登という絶対的エースをはじめ、力ある3年生が都大路に向けてチーム力を高めてくれました。結果として目標達成は叶いませんでしたのが、生徒一人ひとりがエースの遅れを取り戻すべく走り切ってくれたことに、生徒のチームを思う気持ちを感じました。

そして最後に。私が考える高校スポーツは、成功や失敗を繰り返しながら『人として成長していくこと』が成長の鍵だと思います。いかに自分と向き合い、競技あるいは人と接していくかだと思います。第73回全国高校駅伝は終わってしまったが、次年度に向けてスタートをしています。これからも秋田工業高校陸上競技部に対する御支援と御協力の程、宜しくお願ひ致します。

本大会は「3位入賞」と「2時間3分切り」を目指に掲げ、部員一丸となつて挑んできました。結果は23位となり、タイムも目標には届かず、大会を終えることとなりました。序盤から苦しい展開でのレースとなり、駅伝の難しさを実感しました。しかし、この経験は必ずや部員全員の今後の競技において必ず意味のあるものになると思います。

後輩には、自分たちで決めた目標達成のための取り組みとして、今後の競技・生活のなかで甘さを捨て、チームとして強い集団を目指して頑張ってほしいと思います。

最後になりますが、沢山のご支援とご声援本当にありがとうございました。

第73回全国高等学校駅伝競走大会出場募金決算報告書

収 入	7,428,080 円
支 出	7,065,156 円
残 額	362,924 円

《収入額》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	執行率	備考
寄付金	7,500,000	7,428,070	99%	募金延べ人数 1609人
雑収入	1,000	10	1%	受取利子
計	7,501,000	7,428,080	99%	

《支出額》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	執行率	備考
選手・応援派遣費	2,500,000	2,581,729	103%	選手交通・宿泊費、保護者応援費 他
装具費	2,000,000	1,897,450	95%	選手ブレーカー、シューズ、スウェット 他
強化費	1,500,000	1,473,032	98%	強化合宿及び暖地練習費、栄養補給補食費 他
募金費	1,300,000	997,685	77%	趣意書・芳名簿・領収証・報告書作成費 他
雑費	200,000	115,260	58%	新聞広告費、振込手数料 他
予備費	1,000	0	0%	
計	7,501,000	7,065,156	94%	

令和4年度 秋田工業高校駅伝

